



TITLE:

表紙・原稿作成要領・編集後記・
裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・原稿作成要領・編集後記・裏表紙ほか. 物性研究 1993, 60(1): 50-52

ISSUE DATE:

1993-04-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/95086>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成5年4月20日発行(毎月1回20日発行)
物 性 研 究 第60巻 第1号

ISSN 0525-2997

vol. 60 no. 1

物性研究

1993/4

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、特別寄稿、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不適当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で、**private communication** 扱いにしてください。

原稿作成要領

1. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
2. 別刷ご希望の方は、投稿の際に50部以上10部単位で、必要部数、別刷送付先、請求先を明記の上、お申し込み下さい。
3. **ワープロ原稿の場合**
 ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。（特に希望される場合には、こちらでタイプし直すことも可能ですが、経費の節約のため、できるだけ写真製版できる原稿をお願いします。）
 - 1) 用紙はB5またはA4を縦に使用。（印刷はB5になります。）
 - 2) マージンはB5で、上下あわせて約4.5cm、左右あわせて約4cm。
 - 3) 1ページに本文34行、1行に全角文字で42字。
 - 4) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、余白を十分にとって下さい。
 - 5) 図や表は、本文中の適当な箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 6) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
4. **手書き原稿の場合**
 - 1) 原稿は400字詰原稿用紙に丁寧に書いて下さい。
 - 2) 数式は大きく明瞭に書き、1行におさまらない場合の改行箇所を赤で指定して下さい。
 - 3) 数式、記号の書き方は、Progress, Journal の投稿規定に準じ、立体（ \square ）、イタリック（ $\textit{_}$ ）、ゴシック（ $\text{\textbf{_}}$ ）、ギリシャ文字（ α ）、花文字、大文字、小文字などを赤で指定して下さい。本誌は立体を基本としてタイプされますので、式にも必ず、イタリック、立体を指示して下さい。また、著者校正はありませんので、特に区別しにくい c と e、e と l、v と u、u と n、l（エル）と 1（イチ）、O（オー）と 0（ゼロ）、x（エックス）と \times （カケル）、†（ダガー）と +（プラス）、 ψ と ϕ と Ψ と Φ などとも赤で指定して下さい。
 - 4) 図は写真製版できるもの（こちらではトレースはいたしません。）を図の説明と共に論文末尾に揃え、図を入れるべき位置を本文の欄外に赤で指定して下さい。

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、特別寄稿、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不適当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で、**private communication** 扱いにしてください。

原稿作成要領

1. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
2. 別刷ご希望の方は、投稿の際に50部以上10部単位で、必要部数、別刷送付先、請求先を明記の上、お申し込み下さい。
3. **ワープロ原稿の場合**
 ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。（特に希望される場合には、こちらでタイプし直すことも可能ですが、経費の節約のため、できるだけ写真製版できる原稿をお願いします。）
 - 1) 用紙はB5またはA4を縦に使用。（印刷はB5になります。）
 - 2) マージンはB5で、上下あわせて約4.5cm、左右あわせて約4cm。
 - 3) 1ページに本文34行、1行に全角文字で42字。
 - 4) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、余白を十分にとって下さい。
 - 5) 図や表は、本文中の適当な箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 6) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
4. **手書き原稿の場合**
 - 1) 原稿は400字詰原稿用紙に丁寧に書いて下さい。
 - 2) 数式は大きく明瞭に書き、1行におさまらない場合の改行箇所を赤で指定して下さい。
 - 3) 数式、記号の書き方は、Progress, Journal の投稿規定に準じ、立体（ \square ）、イタリック（ $\textit{_}$ ）、ゴシック（ $\text{\textbf{_}}$ ）、ギリシャ文字（ α ）、花文字、大文字、小文字などを赤で指定して下さい。本誌は立体を基本としてタイプされますので、式にも必ず、イタリック、立体を指示して下さい。また、著者校正はありませんので、特に区別しにくい c と e、e と l、v と u、u と n、l（エル）と 1（イチ）、O（オー）と 0（ゼロ）、x（エックス）と \times （カケル）、†（ダガー）と +（プラス）、 ψ と ϕ と Ψ と Φ などとも赤で指定して下さい。
 - 4) 図は写真製版できるもの（こちらではトレースはいたしません。）を図の説明と共に論文末尾に揃え、図を入れるべき位置を本文の欄外に赤で指定して下さい。

「コメント」欄原稿募集

物性研究編集委員会

「コメント」欄は、本誌に掲載されたすべての論文、研究会報告、講義ノートなどに対する、読者の質問、意見、批判、賞賛など何でも自由にコメントして、活発に意見を交換してもらおうと企画されたものです。

この欄に掲載する、読者の方々の建設的なコメントを募集します。特に、専門外の読者の方からの素朴な質問を歓迎します。原稿の体裁、および長さは自由です。気軽に下記宛、お送り下さいますようお願いいたします。E-mailやFaxによる投稿も受け付けます。

尚、コメントの掲載の可否は、編集委員会にご一任下さい。

(送付先) 〒606-01 京都市左京区北白川追分町

京都大学 湯川記念館内

物性研究刊行会

TEL: (075)722-3540, 753-7051

FAX: (075)722-6339

E-mail: BUSSEIED@JPNYITP.BITNET

編集後記

全国の大学で教養部がまな板に載せられ、さまざまな料理が次第に出来あがりつつある。とれたての新鮮な材料ではなくカビの生えかけた間に合わせの材料しか使えないのだから、とても美味しい料理が出来たものではない、とまで卑下するつもりはないが、既存学部「大学院重点化」とともに戦後の新制大学発足以来の大改編であることには間違いない。私事で恐縮であるが、私の新しい所属を披露すると、正式には「京都大学総合人間学部基礎科学科情報科学論講座計算理学分野」となる。旧教養部物理学科のメンバーの一部はここへ、大部分は「同学科自然構造基礎論講座〇〇分野」と「京都大学大学院人間・環境学研究科〇〇専攻××講座」へと所属が分かれたが、もちろんキャンパスや研究室は元のままで共存共栄を目指している。「ジュゲムジュゲム……」ばりの舌をかみそうな名前ばかりで、先日も「訓練火災、訓練火災、総合人間学部・人間・環境学研究科図書館から出火。総合人間学部・人間・環境学研究科自衛消防団員は至急……」なる館内放送で始まったキャンパス防火訓練では、おそらく猛特訓してきたであろう事務家さんの律儀さに思わず苦笑した。4月の学会から「京大総合」「京大大学院人環研」なる見慣れぬ略称が登場した次第である。「人間」と「環境」がトレンドなキーワードと言われているが、ここしばらくの間はこの種の新しい略称が続々と現れることになる。しばらくして動乱が治まったら、全国の新しい勢力図（新名称と略称一覧）を本誌で特集でもしましょうか？

ともあれ、電話で対応するたびに舌をかむだけですむなら気が楽であるが、おかげで、「しゅみレーション」と冷やかしていた横着者が、よそ様から提供いただいた専用マシンに手を染めたばかりに、「シミュレーション論」の講義をやらねばならないハメになってしまい、ストレスがたまることこの上ない。これは「設置審」に聞こえたら大変、内緒にしておいて下さい。（H.T.）

[物性研究]

| | | |
|--------|-------|-------------|
| 発行人 | 池田 研介 | (京大・基研) |
| 編集長 | 池田 研介 | (京大・基研) |
| 編集委員 | 池田 隆介 | (京大・理・物理) |
| | 蔵本 由紀 | (京大・理・物理) |
| | 好村 滋行 | (京大・理・物理) |
| | 小島 憲道 | (京大・理・化学) |
| | 八尾 誠 | (京大・理・物理) |
| | 富田 博之 | (京大・総合) |
| 各地編集委員 | 大川 房義 | (北大・理・物理) |
| | 早川 尚男 | (東北大・理・物理) |
| | 河野 浩 | (東大・理・物理) |
| | 金子 邦彦 | (東大・教養・物理) |
| | 甲元 真人 | (東大・物性研) |
| | 田崎 晴明 | (学習院大・理・物理) |
| | 平田 隆幸 | (筑波大・物理工学系) |
| | 松本 元 | (電総研) |
| | 勝木 渥 | (信州大・理・物理) |
| | 鈴村 順三 | (名大・理・物理) |
| | 坂本 好史 | (阪大・教養・物理) |
| | 川勝 年洋 | (九大・理・物理) |

(1993年4月現在)

物 性 研 究 第60巻第1号 (平成5年4月号) 1993年4月20日発行

| | | | |
|-----|----------|---------|--------------------------------------|
| 発行人 | 池田 研介 | 〒606-01 | 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内 |
| 印刷所 | 昭和堂印刷所 | 〒606 | 京都市百万遍交叉点上ル東側 TEL(075) 721-4541~3 |
| 発行所 | 物性研究刊行会 | 〒606-01 | 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内 |
| 年額 | 19,200 円 | | |

[物性研究]

| | | |
|--------|-------|-------------|
| 発行人 | 池田 研介 | (京大・基研) |
| 編集長 | 池田 研介 | (京大・基研) |
| 編集委員 | 池田 隆介 | (京大・理・物理) |
| | 蔵本 由紀 | (京大・理・物理) |
| | 好村 滋行 | (京大・理・物理) |
| | 小島 憲道 | (京大・理・化学) |
| | 八尾 誠 | (京大・理・物理) |
| | 富田 博之 | (京大・総合) |
| 各地編集委員 | 大川 房義 | (北大・理・物理) |
| | 早川 尚男 | (東北大・理・物理) |
| | 河野 浩 | (東大・理・物理) |
| | 金子 邦彦 | (東大・教養・物理) |
| | 甲元 真人 | (東大・物性研) |
| | 田崎 晴明 | (学習院大・理・物理) |
| | 平田 隆幸 | (筑波大・物理工学系) |
| | 松本 元 | (電総研) |
| | 勝木 渥 | (信州大・理・物理) |
| | 鈴村 順三 | (名大・理・物理) |
| | 坂本 好史 | (阪大・教養・物理) |
| | 川勝 年洋 | (九大・理・物理) |

(1993年4月現在)

物 性 研 究 第60巻第1号 (平成5年4月号) 1993年4月20日発行

| | | | |
|-----|----------|---------|--------------------------------------|
| 発行人 | 池田 研介 | 〒606-01 | 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内 |
| 印刷所 | 昭和堂印刷所 | 〒606 | 京都市百万辺交叉点上ル東側 TEL(075) 721-4541~3 |
| 発行所 | 物性研究刊行会 | 〒606-01 | 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内 |
| 年額 | 19,200 円 | | |

会員規定

個人会員

1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお支払い下さい。

| | | |
|-----|-----------------------|----------|
| 年会費 | 1st Volume (4月号～9月号) | 4,800円 |
| | 2nd Volume (10月号～3月号) | 4,800円 |
| | | 計 9,600円 |

お支払いは、郵便振替でお願いします。当会専用の振替用紙がありますので、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 1-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めに「退会届」を送付して下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、必ず送本先変更届を送付して下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく 2 Volumes 以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご留意下さい。

機関会員

1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費19,200円** (1 Volume 9,600円) です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類（請求、見積、納品書）が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物性研究刊行会

〒606 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075)753-7051, 722-3540

FAX (075)722-6339

物 性 研 究 60—1 (4月号) 目 次

| | |
|------------------------------------------------------------------------------------|----|
| ○複素固有値問題に基づく非平衡統計力学理論 —複素スペクトル理論—.....田崎 秀一..... | 1 |
| ○研究会報告 「生物システムにおける機能の自己組織過程と自己崩壊過程」..... | 20 |
| ○コメント Discover, Dissolve, Dilemma —複雑系研究会をめぐる e-mail 討論に寄せて—松田 博嗣..... | 43 |
| 佐野雅己著 “液晶対流系の Phase Wave” についてのコメント好村 滋行..... | 48 |
| 「コメント」欄原稿募集..... | 50 |
| ○編集後記..... | 51 |

物 性 研 究 60—1 (4月号) 目 次

| | |
|------------------------------------------------------------------------------------|----|
| ○複素固有値問題に基づく非平衡統計力学理論 —複素スペクトル理論—.....田崎 秀一..... | 1 |
| ○研究会報告 「生物システムにおける機能の自己組織過程と自己崩壊過程」..... | 20 |
| ○コメント Discover, Dissolve, Dilemma —複雑系研究会をめぐる e-mail 討論に寄せて—松田 博嗣..... | 43 |
| 佐野雅己著 “液晶対流系の Phase Wave” についてのコメント好村 滋行..... | 48 |
| 「コメント」欄原稿募集..... | 50 |
| ○編集後記..... | 51 |